

やまと共創郷育センター NEWSLETTER

2020年秋号

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は、本学が基幹校となり奈良工業高等専門学校とともに平成27年12月に開始、平成28年度からは奈良県立大学も合流し、以降3校が連携しながら事業実施してきました。COC+事業は令和2年3月31日を以て終了となりましたが、奈良女子大学やまと共創郷育センターは5年間で構築した事業協働機関とのネットワークを継続活用し、「地域志向科目」の開講を始めとする地域人材の育成に今年度も引き続き取り組んでいます。

事業協働機関ならびに学内教職員の皆さまにおかれましては、引き続き当センターの活動へのご理解とご協力のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

COC+事業の達成状況

事業協働地域への就職率を最低10%向上させるというCOC+事業全体の目標を受け、平成26年度の就職率を基準に、事業最終年度の就職率10%アップを目指しました。

県内就職率について、最終年度の目標値には届かなかったものの、平成27年度の事業開始から3機関全体・本学ともに着実に増加させることができました。また、他府県出身者が9割を占めるという本学の特殊な状況のもと、平成29年度・30年度の本学の実績については、数値目標を達成することができました。

県内インターンシップ参加者数について、平成26年度実績に基づき、地域志向教育の進展ならびに学生に対してインターンシップ参加のメリット等を強く促すことにより、事業開始となった平成27年度から事業最終年度の令和元年度までの5年間、3機関全体・本学ともに全ての事業年度で目標値を達成することができました。インターンシップ先の開拓、学生への指導強化、地域志向教育の展開により県内企業への興味関心を高めたこと、また奈良県中小企業団体中央会ならびに奈良経済同友会員企業などにインターンシップの積極的活用を促したことなどが目標達成の要因として挙げられます。

COC+事業の主な目標項目・実績（5年間）

目標項目	H26年度	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
	基準値	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
県内就職率 (3校全体)	9.5%	10.7%	9.0%	11.6%	9.6%	12.6%	11.2%	14.1%	11.7%	19.8%	11.9%
うち本学の状況	9.3%	9.9%	6.9%	10.2%	9.6%	10.8%	10.9%	12.1%	12.1%	19.2%	12.7%
県内インターンシップ参加者数 (3校全体)	36人	54人	60人	60人	83人	67人	84人	75人	91人	85人	85人
うち本学の状況	23人	28人	46人	30人	51人	32人	57人	35人	62人	40人	50人

青字箇所は目標達成を示す。

令和2年度の地域志向科目

「地域志向科目」とは、地方創生に寄与する人材を育成するというCOC+事業の目的に沿った人材育成のために必要な学習を実施する科目の総称で、COC+事業が開始された平成27年度に試行、翌平成28年度から本格的に導入されました。また令和元年度からは1科目以上の履修が卒業要件となり、全学部生が卒業までに地域に関する学びに触れることとなりました。

令和2年度は以下の20科目を開講しています。

前期に開講した『奈良』女子大学入門(教養教育科目)は、新入生が本学ならびに奈良での新生活を迎えることを念頭にした授業で、「キャンパスライフの充実」、「奈良で暮らす」、「奈良女子大学で学ぶ」、「奈良を知る・奈良で就職」の4つのテーマにより構成されています。授業ではそれぞれのテーマに関連して、奈良県観光局や県内企業から外部講師も招きながら実施しました。

なお今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により遠隔授業により開講し、新入生を中心に467名の学生が受講しました。

令和2年度 地域志向科目開講一覧

教養教育科目	開講期
「奈良」女子大学入門	前期
パサージュ (32A)	前期前半
パサージュ (32B)	前期後半
パサージュ (39A)	前期前半
環太平洋くろしお文化論	後期
なら学	前期
なら学+(プラス)	後期

文学部専門教育科目	開講期
なら学概論B	後期
文化人類学特殊研究	後期
地誌A	前期
コミュニティ・リサーチ	不定期
コミュニティ・アクション	不定期
なら学演習	後期
地域社会の課題演習	後期集中

理学部専門教育科目	開講期
サイエンス・オープンラボ I	不定期
サイエンス・オープンラボ II	不定期
森林生物学野外実習	前期集中
河川生物学野外実習	前期集中

生活環境学部専門教育科目	開講期
地域居住学	後期
地域連携運動演習	後期

奈良県奈良しごとiセンター出張キャリア相談の開設(4月)

やまと共創郷育センターは、COC+事業協働機関である奈良県奈良しごとiセンターの協力のもと、昨年度に引き続き、毎月第1・第3金曜日の午後、学内に出張キャリア相談コーナーを開設しています。奈良しごとiセンターは、奈良県が設置する総合就職相談窓口として新卒就職・再就職・Uターン就職支援・各種セミナーの開催等、就職活動中の方に様々なサポートを行う公的な就職相談部門です。出張相談コーナーは、学生会館2階の学生談話スペースの一角に設け、気軽に訪問できるようにしました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、7月からは遠隔相談に切り替えました。電話またはオンラインでの相談を実施し、数名の参加がありました。前期に引き続き、後期もオンラインでの相談(要予約)を実施します。



対面相談の様子

奈良県の人も通う人も
奈良県奈良しごとiセンター
希望者は以下の情報をyama10@co.nara-u.ac.jpにメールしてください。
受付先: 学生会館2階 予約受付は、予約確定後、申込者にはその旨が連絡され、予約日曜に奈良しごとiセンターのご連絡から電話が来ます。
なお応募に際し、奈良しごとiセンターへの問い合わせにも以下の情報が共有されることを予めご了承ください。
①名刺 ②履歴書 ③電話番号 ④希望日(7/3-17、8/7-21)
※時間(13:00-14:30、14:30のみ予約)
ならで就カツ
E5が
間に合わない
学生会館2階 pm1:00~3:00
当面の間、電話相談で実施します!
7月3日・17日 / 8月7日・21日 / 9月4日・18日 (すべて金曜日)
この看板が目印です
支援メニュー
E5-508
奈良県で就職してほしい・・・
淡い思いを抱くアドバイザーが待っています。
「たまに特別な企画もします」
お問い合わせ: やまと共創郷育センター事務局 0742-20-3989

「なら学+（プラス）」 最終課題「奈良への提案」の表彰式を開催しました（4月）

令和元年度後期に開講した地域志向科目「なら学+（プラス）」の最終課題「奈良への提案」において、最も優秀な提案をした学生への学長表彰を行いました。本科目は奈良県の伝統（地場）産業や基幹産業を中心にテーマを設定し、自治体や企業経営者並びに専門的業務に携わる多数の実務家をゲストスピーカーに迎えています。「奈良への提案プラン」と題した212名分の最終課題レポートの中から優秀な2つのプランを「『なら』いにしえ賞」、「『なら』みらい賞」としてそれぞれ選出しました。

★「なら」いにしえ賞:「武」で輝く奈良(文学部学生)

「刀剣ファン」をターゲットに絞り込み、SNSを使ったマーケティングで、公開場所や公開時期の設定にも工夫を凝らした観光の提案

★「なら」みらい賞:「Let's play LARP(Live Action Role-Playing Game) in Nara!!

休日こそ、アクティブに過ごそう!!(生活環境学部学生)

比較的低コストで、ゲーム要素の魅力で目立った観光資源のない地域にも人を呼び込める可能性がある体験型ゲームの提案

選考委員を務めた奈良県産業・観光・雇用振興部観光局 谷垣次長ならびに一般財団法人南都経済研究所 吉村 上席研究員から、コスト面への配慮、実現可能性の高さ、地域貢献度の高さ、SNSを使ったマーケティングを評価して最優秀賞にふさわしい提案プランを選出したこと、また受賞学生からは、地域志向科目の履修を通じて地域への興味、関心が深まったことが報告され、今岡春樹学長からそれぞれのプランの着想が達成できるよう、温かいエールが送られ表彰状が手渡されました。



奈良県関連企業の紹介ページを開設しました（6月）

当センターでは、奈良県に縁のある企業の社員・自治体職員の方々を招聘し、学生に県の基幹産業や企業の魅力を伝えることや、県内就職を将来の選択肢の一つに加えるよう促すことを目的に、学内で合同業界研究セミナーを実施していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止としました。

今年度は合同セミナーに代わり、やまと共創郷育センターのホームページ内に奈良県関連企業の紹介ページを新たに設け、協力いただいた企業の就職関連情報を集め、学生が一覧できるようにしました。

NO	企業名	業種	特徴
1	奈良県立総合技術センター	製造業	県庁内の「モノづくり」の最高レベル、IT・IoT・AIを推進する企業
2	奈良県立総合技術センター	製造業	IT・IoT・AIを推進する企業
3	奈良県立総合技術センター	製造業	IT・IoT・AIを推進する企業
4	奈良県立総合技術センター	製造業	IT・IoT・AIを推進する企業
5	奈良県立総合技術センター	製造業	IT・IoT・AIを推進する企業
6	奈良県立総合技術センター	製造業	IT・IoT・AIを推進する企業
7	奈良県立総合技術センター	製造業	IT・IoT・AIを推進する企業
8	奈良県立総合技術センター	製造業	IT・IoT・AIを推進する企業
9	奈良県立総合技術センター	製造業	IT・IoT・AIを推進する企業
10	奈良県立総合技術センター	製造業	IT・IoT・AIを推進する企業

No.	アプリ紹介	ナットコムサービス	URL	業種	情報提供先
101	企業名	南都コンピュータサービス株式会社	https://www.nantoccs.co.jp		

06からのメッセージ

大学で勉強するは、嫌って南都コンピュータサービスに入社して、仕事も楽しんでいます。南都コンピュータサービスは、南都銀行のグループ会社として1986年に設立。システム開発・導入、総合システムサービス、ホームページ制作、商品販売、アフターサービス等、幅広い業務に携わる地元企業です。

奈良県が大好きで地元企業に就職したい、今後の企業は南都大。仕事をしながら勉強したい、という、一緒に働きませんか？

こんな女性におすすめです！

- ライフステージがかわっても私らしく働きたい
- 奈良が大好き！ずっと奈良にいたい！！
- 06からのメッセージが会社に響くように感じたい

会社案内(要約)

南都銀行グループのIT企業で、システム開発やホームページ制作を手がけています。

奈良女子大学OGが在籍 あり

2020年度卒業(帰)見込者 採用活動予定 あり

採用情報(詳しくは)

採用予定職種 : プログラマー
基本給(前任給): 188,000円
賞与 : 年2回(6月、12月)
昇給 : 年1回
勤務時間 : 月曜30分~17時10分(休憩60分)
休日 : 完全週休2日制(土、日、祝)、有給休暇(10日、最高40日)
休暇制度 : 連続休暇(7日間)、ミニ連休(4日間)、計画特別休暇、半日休暇
育児休暇制度 : あり(取得実績あり)
福利厚生 : 各種社会保険完備、事務職員給与、社員食堂あり
交通費 : 全額支給
住宅手当 : 家賃補助制度あり
勤働地 : 奈良市(転勤なし)

2021年度以降卒業(帰)見込者対象 インターンシップ制度あり

-採用活動予定あり(2021年度以降)、インターンシップ制度あり-

会社所在地 奈良市南宮町1丁目93-2(南都銀行事務センター内)
お問合せ メールアドレス・TEL kawata@nantoccs.co.jp 0742-50-2125
お問合せ 部署 採用担当 河田

やまと共創郷育センターCOC+評価委員会を開催しました (6月)

やまと共創郷育センターCOC+評価委員会はCOC+事業について適切な評価を行うための組織で、学外有識者を含めた5名の評価委員ならびにCOC+事業に参画している奈良県立大学、奈良工業高等専門学校、本学の関係者から構成されています。最終年度の評価委員会については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、書面により実施しました。

委員からは、「地域志向科目、PBL型科目(奈良女子大学)、地域創生マインド養成教育プログラム、地域共創研究クラスター(奈良工業高等専門学校)、地域連携・創生演習(奈良県立大学)が機能して、学生たちの地域志向・マインドを効果的に醸成することができた。県内自治体・企業との連携においても、授業への協力、県内企業・県内自治体魅力発見フェスタ2019、見学ツアー(バスを自治体・企業が提供)、交流会(奈良県主催)、など積極的な協働が実現した。また、昨年に引き続いて奈良県の実情にあったきめ細かな指導や就職支援が丁寧を実施された。5年間で構築した教育システム、県内自治体・企業との連携システムを活かして、事業終了後も継続して地域創生に寄与していることが重要」との評価をいただきました。

―― 今後の予定 ―――

■やまと共創郷育センターでは、2つの授業を後期に開講します。

・なら学+ (プラス)【地域志向科目】

当科目では、昨年度に引き続き奈良工業高等専門学校・奈良県立大学をはじめ、県内企業や自治体から多彩なゲストスピーカーをお迎えし、様々な視点から奈良の課題や取り組みについて学ぶことによって、問題解決力や提案力を養います。奈良はもちろんのこと、地元に戻っても活躍できる未来の地域リーダーの育成を目指して講義を展開します。

【ゲストスピーカー(予定)】

奈良市観光協会、飛鳥観光協会、奈良県女性活躍推進課、奈良県薬事研究センター、奈良県農業研究開発センター、DMG森精機株式会社、株式会社池利、奈良工業高等専門学校、奈良県立大学 他



昨年度の授業風景

・キャリアデザイン・セミナールC(5)「ビジネスプラン」の作り方～アイデアだけでは終わらせない!

「ビジネスプラン」は事業を展開する際の指針となる計画案であり、金融機関や投資家等の外部関係者に計画の意図を伝えて、協力・支持を得るために必要不可欠なものです。当科目では、「ビジネスプラン」の構成要素を理解し、学生自身の「アイデア」を素材に、グループワークや専門家のアドバイスを得ながら、プラン作成のプロセスを具体的に学ぶことを目指すとともに、各自が作成した「ビジネスプランの発表」を通じて、プレゼン能力、情報収集・整理能力、多角的、多面的な思考力、積極的に行動を起こす態度等の向上を目的とします。



昨年度の授業風景

■奈良経済同友会との意見交換会を実施します。

奈良経済同友会では観光活性化委員会を立ち上げ、県内観光の活性化を目指して活動しています。その活動の一環で、本学学生と意見交換会を実施することになりました。経営者による観光活性の議論に学生の視点が加わることで、より活発な議論となることが期待されます。

■令和3年度に新規開講する地域志向科目の内容を検討します。

令和元年度入学生から地域志向科目が必修化されたことに伴い、全ての学生が卒業までの間に地域志向科目を確実に履修できる体制を整えるべく、令和3年度から新たな地域志向科目「奈良を知る」を開講することが決定しました。次年度の開講に向けた準備を進めています。

奈良女子大学 やまと共創郷育センター

〒630-8506 奈良市北魚屋東町 奈良女子大学コラボレーションセンター1階
TEL 0742-20-3989 FAX 0742-20-3993 Email: coc-yamato@cc.nara-wu.ac.jp